

プノンペン自立生活センター (PPCIL) と カンボジアにおける障害者の一般状況について

プノンペン自立生活センター事務局長

サミス メイ

自己紹介



- 1979年生まれ
- ポリオによる障害のため自操式車椅子を使用。
- 18年以上にわたり、障害や福祉分野での仕事に従事。
- 2006年から2007年にかけてダスキン愛の輪基金のリーダー育成事業の支援を受けて、日本で自立生活に向けたトレーニングを受講
- 現在、プノンペン自立生活センター事務局長

プノンペン自立生活センター (PPCIL)



2009年創立



カンボジア唯一の自立生活センター



活動内容

- 障害並びに自立生活のコンセプトの啓蒙・拡散
- 障害者の包摂
- ピア・カウンセリング
- 自立生活プログラム (ILP)
- パーソナルアシスタント (PA)サービス
- 政策提言
- 各種イベント

カンボジアの障害者を取り巻く一般的状況



- 一般にカンボジアの障害者は所得格差や社会的排除と差別により社会の片隅に追いやられているのが実情です。
- 多くのカンボジア人が伝統的仏教由来のカルマの考え方を信じているため、例えば先天的に障害がある人、或いは交通事故や地雷による事故、ポリオなどにみまわれる状況に生まれること、更には内戦やクメールルージュ（※1）によって回復不能な障害を負わされる境遇に置かれるなど、後天的な要因で障害を負うことで、彼らは前世の罪を償っていると見なされます。
- また、ほとんどの障害者は社会を変えるのではなく、自分の障害を克服したいと考えます。

※1.クメールルージュ:カンボジア共産党内部の抗争で主導権を握った過激派の俗称。カンボジアのプノンペン国立医科大学のミィ・サムディ教授がまとめた「カンボジアの人口変動に関する資料」（1989年7月20日）によると、1975年～79年の間、推定で、224万人を虐殺しているとしている(S, Ogura 2003)。

カンボジアの障害者を取り巻く一般的状況

プノンペン自立生活センターは権利ベースアプローチ並びに最小行政単位/県レベルから地方自治政府レベルに至る地域包括アプローチを通じて、障害者の生活を変化させています。



プノンペン自立生活センタースタッフに対する能力開発

能力開発トレーニング実施以前、スタッフは以下のことができませんでした。

- アクションプランを作成すること
- 決められた時間内に仕事を完了させること
- 問題を特定すること
- 解決策を探ること
- 時間をマネジメントすること
- コストを見積もること



プノンペン自立生活センタースタッフに対する能力開発プログラム

1. 2016年及び2017年に日本で行われた2つのトレーニング「時系列、コミュニケーション、行動計画」と「事実質問」に参加。
2. これら2つのトレーニングを受講した後、プノンペン自立生活センターのスタッフがなぜ、彼らの仕事を完遂する上で必要なスキルが欠けているのかを理解しました。
3. そこで、日本障害者リハビリテーション協会に対してプノンペン自立生活センタースタッフ向けの第一回のトレーニングを2018年2月に実施して欲しいと依頼しました。

プノンペン自立生活センタースタッフに対する能力開発プログラム

プログラム実施による変化:
トレーニング実施の後, 当センターのスタッフとボランティアメンバーは以下のより良いスキルと能力を獲得しました。

- まだ完全ではないながら、行動計画やプロジェクト計画を立案できるようになった。
- 予定時間内に仕事を完結できるケースが増えた。
- モニタリングと評価ができるようになった。
- 結果ベースの報告ができるようになった。



プノンペン自立生活センタースタッフに対する能力開発プログラム

発展途上ながら更なる改善が必要な点:

- アクションプラン: 作成作業に効率性が欠ける
- 問題の把握: 全体の把握はできるが、問題を分析してさらなる要素に分解することができないことがある。
- 解決策を見つける: 彼らの経験や知識に基づいて合理的な解決方法を見出すことが難しいことがある。
- 事実質問の効果的活用: 事実質問の質問を作り、質問することがやや難しい。

プノンペン自立生活センタースタッフに対する能力開発プログラム

学びの適用:

- プノンペン自立生活センターはこれらの学びを 実践し、現実社会で応用。
- 新しい提案書を書いたり、それをVOICE（オランダ政府系国際協力機関）への補助金申請書を提出する際等で、プログラムで得たノウハウを活用。
- もともと提案書で要求されている訴求点はトレーニングで学んだ「問題把握」「課題と行動（計画）の細分化」「行動結果の評価と報告」といったスキルと似通っていたため、実践がやり易い。



ご清聴、ありがとうございました。